

支所だより

東予・丹原・小松の各総合支所管内での、身近な出来事や話題などを紹介するコーナーです。

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

未来のために、今 私たちが守ろう！

～東予地区の希少植物～

東予総合支所の管内には、絶滅危惧種に指定されている植物が多数生育しています。

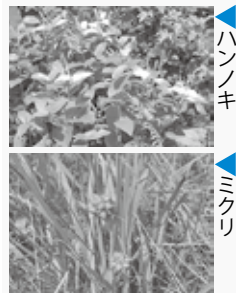
環境省の絶滅危惧ⅠA類（ごく近い将来に野生での絶滅の危険性が極めて高いもの・危険度ランク第一位）が1種類、また、県の絶滅危惧ⅠB類（県内で近い将来に野生での絶滅の危険性が高いもの）が7種、同Ⅱ類（県内で絶滅の危険性が增大しているもの）が9種、準絶滅危惧種（存続基盤が脆弱な種）が13種も指定されているほか、数種類希少植物も確認されています。

それらの中から、県の絶滅危惧ⅠA類「ハンノキ」と、同Ⅱ類で環境省の準絶滅危惧種の指定を受けている「ミクリ」についてご紹介します。

「ハンノキ」は、ため池や土手・川沿いの湿地などに生える落葉高木で、東予地区以外の県内には今治市にしか自生していません。かつては崩川や大曲川の岸辺に多く見られたそうですが、その幹が真っすぐで強度に優れていたため、刈取り後の稲を乾燥させる稲木に用いられるなどして、次第に姿を消してしまいました。

また「ミクリ」は、池沼や流れの緩やかな川などに生育する多年生の植物で、高さは1.5mを超えることもあります。栗のような球状の果実を付けることから「実栗」の和名で呼ばれています。県内ではわずかに当市で生育しているだけです。

私たちの力を合わせて、自然と共生できる未来にしたいものです。



丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

かつて人々の暮らしを大きく変えた岩勝隧道

～丹原町楠窪影無地区を訪ねて～

先月のこのコーナーで紹介した志河川ダムから5kmほどで、「影無」という陽光にあふれ風光明媚な山あいの地区に着きます。集落には、品のある宝形造りの地蔵堂が現存し、桃源郷を思わせる景色が広がっています。

影無地区から志河川沿いをさらに進むと、小松町戸石地区との境界に「岩勝隧道」があります。昭和6年に岩山をくりぬき完成した隧道は、幅2.7m、高さ3.1m、長さは20.9mもあります。この場所は、岩山が



垂直にそそり立っているため側道を設けることができず、それまで人馬はるか上方の山を遠回りしていました。

この隧道の完成により、物資の運搬が荷馬から荷馬車へ変わったことで、木材や大豆等の産物を大量に運び出すことが可能となり、また生活必需品の搬入も容易になりました。大正15(1926)年の千足山小学校戸石分教場の閉鎖後、楠窪小学校に通学していた戸石地区の児童にとっては、この上ない出来事だったことでしょう。

当時、この道は石鎚山登山道としても大いに利用され、お山開きの期間中には信者の鈴の音が昼夜途切れることなく聞こえていたと伝えられています。その後、トラック輸送時代を迎え村人の生活は一層便利になりましたが、高度経済成長期と重なったことから急速に過疎化が進み、ついに戸石地区には誰もいなくなってしまいました。現在、この隧道は森林開発や自然保護等に利活用されています。

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

椿油で体もまちも元気いっぱい！

～見て味わって、椿の魅力～

椿によるまちおこしに取り組む愛媛・小松つばき会。3月に開催した「椿一輪展」で、今年初めて販売したのが椿油です。これは、椿油が健康に良いオレイン酸を多く含む天然植物オイルである、ということに着目したものです。

その準備は昨年9月に始まりました。会員が収穫した150キロもの椿の実を乾燥させ、採れた種を搾って出来上がった椿油は20リットル。まずは、この椿油を使った料理の試食会を開催し「たくさん食べても胃にもたれない」、「風味も良くドレッシングのオイルとしても使えそう」などの感想をいただいたうえ、「椿一輪展」の会場において椿油を使用するレシピを添え100ミリリットル1本800円で販売したところ、大好評を博すこととなりました。

同会の黒川雅子会長は、「今後は数ある椿の品種の中でも小松固有種である『篤山椿』だけで作った椿油を販売して、地域の活性化につなげたい」と夢を膨らませます。

現在は、「椿一輪展」期間中に限定した椿油の販売ですが、同会が管理する小松中央公園「椿千年の森」の椿が順調に生育すれば、純正・篤山椿油の製造も夢ではありません。折しも昨年末には、丹原町の宇野典博さんから篤山椿50本を含む多くの椿の寄贈をいただいたところです。

今年の開花時期は終盤を迎えています。会員の皆さんの椿に寄せる思いは尽きることがありません。

